

日本インターンシップ学会 第3回榎本記念賞 審査結果報告

報告：榎本記念賞WG

榎本記念賞の創設と意義

- 元大阪経済大学教授で初代関西支部長であられた榎本淳子先生から「秀逸なるインターンシップ」の発展を願い頂戴したご寄付をもとに創設
- 2011年度以来、榎本記念賞WGにおいて「秀逸なる事例とは何か」について検討を重ね、インターンシップの発展と高度化を願い、「秀逸なインターンシップ」事例の収集および選定を行っている。
- 2015年に第1回目の選定を行い7事例を表彰
- その後、WGでルール改正等を行い、2017年に第2回目の選定を行い、5事例を表彰
- 本年（2019年）、第3回目の選定を実施

選考対象

- **大学・短大、高専、専門・専修学校、
中学校・高等学校等の事例**
- **日本インターンシップ学会会員であり、
2017年6月から2019年5月末迄の
2年間に学会大会、支部研究会で発表、
講演等により披露した事例**
- **各支部にて4件を6月理事会において
推薦する**

評価項目

No	項目	内容
1	制度・組織	教育としての位置づけやリスクマネジメント等、学校が制度として組織的に取り組んでいる。
2	内容	事前事後指導や関連領域の学修等、内容が充実しており、そのことが、シラバスやプログラム説明の資料等から読み取れる。
3	受入先との連携	協働先として適切な受入先が確保されており、継続性がある。
4	醸成される力	専門能力または汎用能力など学生のどのような能力等が醸成されたのかが、具体的な事象やデータ、証言などから認められる。
5	受入先からの評価	学生の行動力や能力等について受入れ先から高い評価を受けているか、具体的な事象やデータ、証言などから認められる。
6	受講生の評価	参加した学生から高い評価を受けているか、具体的な事象やデータ、証言などから認められる。

審査方法

- ・ 評価項目8項目のうち、2.運用と4.期間を除く6項目を各5点満点として、全体として30点満点で審査
- ・ 最も合計点が高いものを「最も秀逸」、2~5位まで「秀逸」として選定
- ・ 同点の場合は審査員の合議で決定
- ・ 審査員は榎本記念賞WGメンバーとする（◎は委員長、○は副委員長）
 - ◎ 松坂暢浩、○岡本信弘、○田村明子、高瀬和実、平尾元彦、松高政

今回、各支部から合計10事例を推薦いただき、下記のスケジュールにて選考

6月26日(水)	各支部より推薦団体のエントリーシート提出
6月28日(金)~7月29日(月)	榎本記念賞WG各委員による審査
7月31日(木)~8月7日(水)	結果取りまとめと各委員による最終確認
8月10日(土)	理事会に提案・承認
8月31日(土)	第20回学会大会にて表彰

榎本記念賞の選定結果について

最も秀逸なる事例

NPO法人ETIC. (伊藤淳司会員・瀬沼希望会員)

秀逸なる事例

立命館大学 (廣瀬幸弘会員)

北九州市立大学 (見館好隆会員)

北海道教育委員会 (北海道教育委員会)

長崎短期大学 (牟田美信会員)

最も秀逸なる事例

NPO法人ETIC. (伊藤淳司氏・瀬沼希望氏)

大学・学生・受入企業の間にはコーディネート機関が介在し、地域で中長期インターンシップに取り組む最も秀逸なる事例である。

特に、地域コーディネーターが、調整・選考・面接を経てマッチングを行うなど組織的に取り組んでおり、教育プログラムとして完成度が高い。また受入先からの評価も高い点も評価できる点である。

秀逸なる事例

立命館大学 (廣瀬幸弘氏)

理工系学生が海外学生（インド）と混成グループで、PBL型の海外インターンシップに取り組む秀逸な事例である。完成度の高い教育プログラムであり、また定量的調査を通して、教育的効果の把握が丁寧になされている点も評価できる。

北九州市立大学 (見舘好隆氏)

文部科学省の補助事業終了後も、組織的に継続して海外インターンシップに取り組む秀逸な事例である。参加学生も多く、アウトプットが詳細で、設計から実施、報告まで担当部署と担当教員の尽力が伝わる。

秀逸なる事例

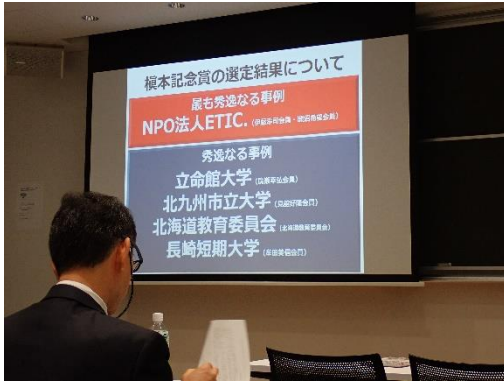
北海道教育委員会 (北海道教育委員会)

初等中等教育における産学連携の取組みとして、秀逸な事例である。特に、広域での取組みでありながら、学校や地域に変化をもたらす成果が出ている。これをきっかけに、今後は各地域の独自性を活かした取組みへと発展することが期待できる。

長崎短期大学 (牟田美信氏)

長期学外学習プログラムといった、短期大学で取組む事例として先進的であり、秀逸な事例である。また本プログラムは、文部科学省の補助事業に採択されており、組織的な体制と体系的なプログラムが構築されている点は評価が高い。

第3回表彰式の様子



第3回表彰式の様子



最も秀逸なる事例
NPO法人ETIC. (伊藤氏、瀬沼氏)



秀逸なる事例
立命館大学 (廣瀬氏)



秀逸なる事例
北九州市立大学 (見館氏)
※代理：北九州市立大学 眞鍋氏



秀逸なる事例
北海道教育委員会 (諸橋氏)



秀逸なる事例
長崎短期大学 (牟田氏)